

<p>【技術の名称】 STK-II アンカー工法 —大口径鉛直型本設地盤アンカー工法— (改定2)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第11-08号 改2 性能証明発効日：2019年3月15日</p> <p>【取得者】 株式会社熊谷組</p>
--	---

【技術の概要】

本技術は、建築物と一体となって地震、風、水圧および土圧等による浮上りや転倒を防止し、建築物の安定を図ることを目的とした鉛直型の本設地盤アンカー工法である。本工法では、アンボンド加工した引張材を定着長部の耐荷体先端に固定し、これを削孔地盤中に挿入し、注入材によって地盤に定着した後、ストロングホールド工法によって緊張力を与える。

【改定の内容】

- 新規：GBRC性能証明第11-08号（2011年7月25日）
改定1：GBRC性能証明第11-08号 改（2014年3月6日）
- ・適用地盤（定着層）の拡大
 - ・実績のある地盤での引抜き試験の取り扱い方法の追加
- 改定2：GBRC性能証明第11-08号 改2（2019年3月15日）
- ・定着層の確認方法の追加（ケーシングの総貫入エネルギーに基づく管理手法の追加）

【技術開発の趣旨】

本技術は、アンボンド加工した引張材と定着長部に耐荷体を用いた圧縮型地盤アンカーであり、定着長部の径を既存のものより拡大することにより、引抜き抵抗力の向上を図っている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、引抜き方向の鉛直抵抗力についてのみを対象としており、以下の通りである。
申込者が提案する「STK-II アンカー工法 設計・施工指針」に従って施工された地盤アンカーは、同指針に定める長期ならびに短期荷重時の引抜き抵抗力を有する。

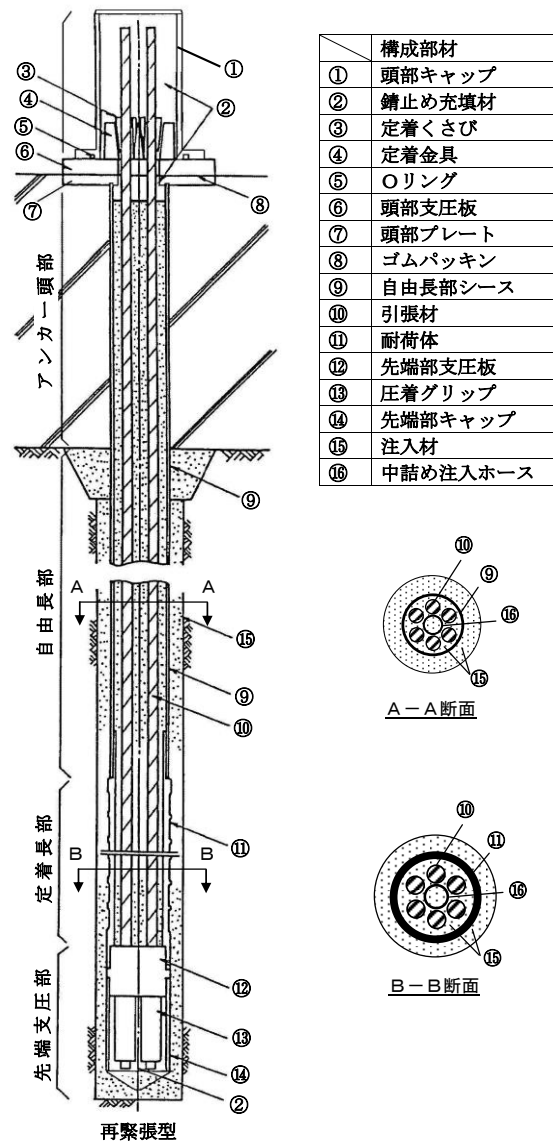


図1 本アンカーの構成

表1 アンカーのタイプ

削孔径による区別	呼名	削孔径 (mm)	許容引張力(kN)		引張材 (PC 鋼より線)	耐荷体径 (外径/内径)
			初期導入時	定着完了時		
大口径アンカー	STK-250	225	2100	1975	5-φ21.8	φ152/φ116
	STK-300		2520	2370	6-φ21.8	

【本技術の問合せ先】

株式会社熊谷組 担当者：遠藤 正美
〒300-2651 茨城県つくば市鬼ヶ窪 1043

E-mail：masaharu.endou@ku.kumagaigumi.co.jp
TEL：029-847-7505 FAX：029-847-7480